

カタログコード

MAB-212A 5セ-930902.③.④

ご用命は

トステム

トステム株式会社

本社・〒136 東京都江東区大島2-1-1

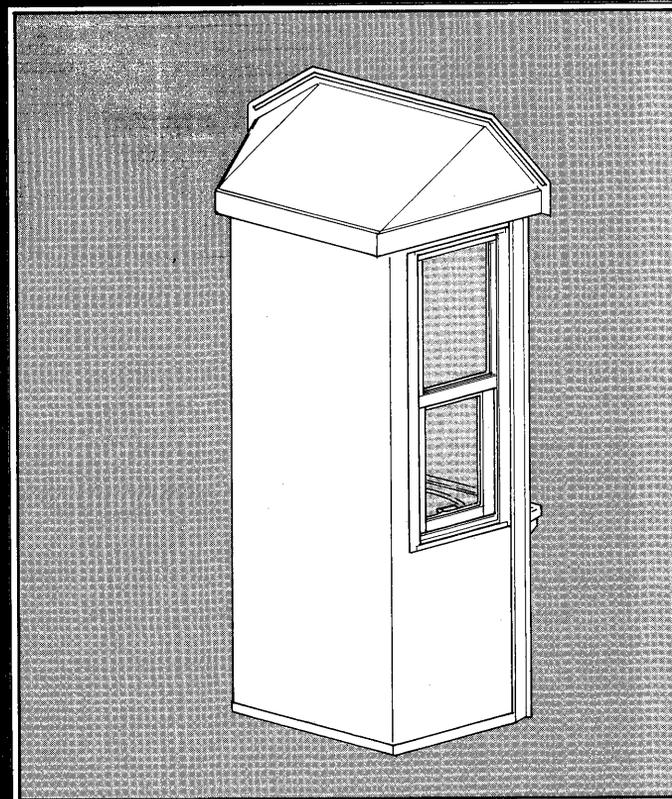
- この商品に関するお問い合わせ先 商品相談室 TEL 03(3638)8181 ☎012-012-6001
- その他商品に関するお問い合わせ先
- 住宅用サッシ・ドア・エクステリア 商品相談室 TEL 03(3638)8181 ☎012-012-6001
- ビル用サッシ・ドア ビル建材本部 TEL 03(3638)8230
- 住宅設備機器 住器統轄部 TEL 03(3638)8213
- システム建材 リビング建材部 TEL 03(3638)8950
- 外壁材 トステムセラ TEL 03(3672)2181

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

トステム

洗面出窓MB型

取扱い説明書



ご愛用者の皆様へ

この度は洗面出窓 MB 型をお買い上げいただきまことにありがとうございました。この説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、お読みになった後は、見やすいところへ大切に保存してください。

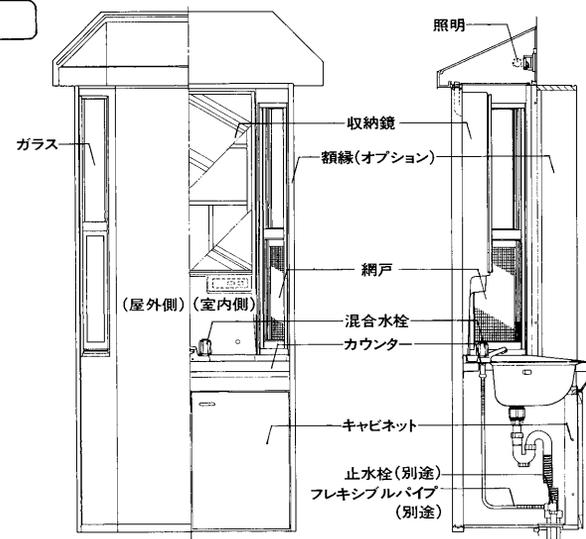
この商品に関するお問い合わせは、お買い求めの工務店、販売店、またはトステム(株)営業所へご連絡ください。

目次

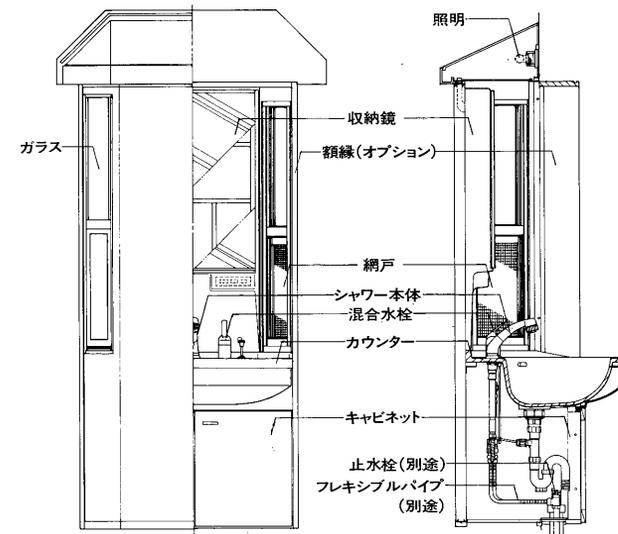
ご愛用者の皆様へ	1
目次	1
各部名称	2
仕様	3
ご使用前の確認	4
シャワーの使い方	5
ご注意	6
お願い	7
各部のお手入れ	8~9
蛍光ランプの交換	10

各部名称

MB型



MB型 シャワーセット



仕様

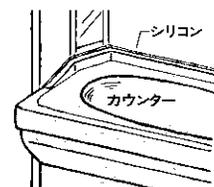
	部 位	仕 様									
		MB型	MB型シャワーセット								
出窓部	屋根	屋根材：塩ビ鋼板 軒天：アルミ押出し材 断熱材：ポリエチレンシート 天板：ポリスチレン型板									
	出窓本体	内・外装材：塩ビ鋼板 充てん材：硬質ウレタン樹脂発泡材 枠：アルミ押出し材									
	底板	表・裏面材：メラミン化粧板 心材：石綿セメント ケイカル板									
	ガラス	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">単位mm</th> </tr> <tr> <th>部 位</th> <th>ガラス寸法 H×W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上げ下げ窓 FIX部</td> <td>463×207</td> </tr> <tr> <td>上げ下げ窓 障子部</td> <td>402×202</td> </tr> </tbody> </table>		単位mm		部 位	ガラス寸法 H×W	上げ下げ窓 FIX部	463×207	上げ下げ窓 障子部	402×202
	単位mm										
部 位	ガラス寸法 H×W										
上げ下げ窓 FIX部	463×207										
上げ下げ窓 障子部	402×202										
照明	蛍光灯FL20W(1本)50Hz、60Hz切替スイッチ付き										
ビード	軟質塩化ビニル(3,4mm用)										
洗面部	給水栓	2ハンドル湯水混合栓	シングルバーシャワー混合栓								
	カウンター	鋼板硬質ホーロー	ポリエステル系 人造大理石								
	排水装置	くさり付きゴム栓、ジャバラ付きストラップ、防臭栓付き	ポップアップ式排水栓、ジャバラ付きストラップ、防臭栓付き								
	排水カバー	塩ビ樹脂									
キャビネット部	幕板	HIPS. 押出し成型品(キャップ付)	HIPS. 真空成型品								
	本体	表面材：ポリ合板 心材：積層合板									
	扉	表面材：ポリ合板、裏面材：カラー合板、心材：ラワン材									
	ドアポケット	スチール製 ポリエチレンコーティング									
収納鏡部	本体	HIPS真空成型品									
	鏡	防湿鏡	防湿鏡 くもり止めヒーター付き								
	機能	照明用スイッチ コンセント(1200W)	照明、ヒーター用スイッチ コンセント(1200W)								
	付属品	歯ブラシ立て									
その他	ドライヤーフック	スチール製									

(オプション品)

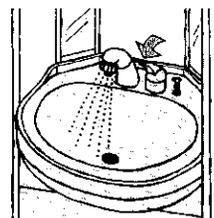
	部 位	仕 様	
		MB型	MB型シャワーセット
額 縁	本 体	表面材：ポリ合板、心材：積層合板	

ご使用前に確認を……

Q1. カウンターの周囲にシリコンで防水処理が施されていますか？



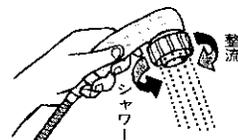
Q2. 給水及び排水接続部に水もれがありませんか？



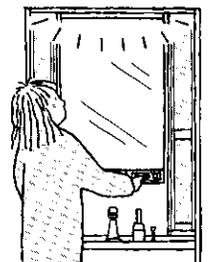
Q3. 水の出、湯水の出は適当ですか？
水栓のレバーを下げ、湯・水の出を確認してください。

Q4. シャワー・整流に切り替わりますか？(シャワーセットのみ)

- シャワーヘッドの切替えつまみを回して確かめてください。

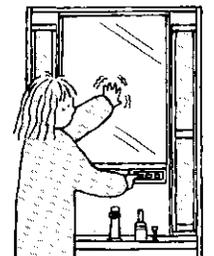


Q5. 照明は点灯しますか？



Q6. くもり止めスイッチを押すと鏡があたたかくなりますか？(シャワーセットのみ)

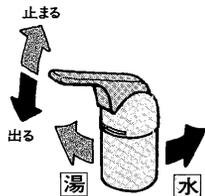
- スイッチを押してから約5分後、鏡中央部に手をあてて確かめてください。



シャワーの使い方(シャワータイプのみ)

●湯の温度調整

湯水混合栓のレバーを右に回すと水が、左に回すとお湯が出ます。始めに水を出してから、徐々に湯を出して温度を調整してください。(ご使用前に必ず湯温を確かめてください。)



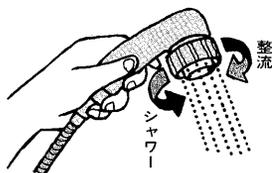
●湯水の量の調整

湯水混合栓のレバーを上げると水が止まり、下げると出ます。水の出が多すぎる場合や少なすぎる場合は、止水栓をマイナスドライバーかコインで回し水量を調整してください。



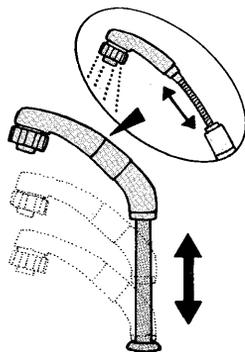
●シャワー・整流の切替え

シャワーヘッドの切替えツマミを右に回すと整流、左へ回すとシャワーへ切り替わります。(シャワーを使用する際、必ずスイッチカバーを閉めてください。)



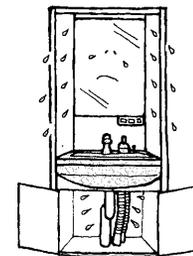
●シャワー吐水位置の調整

- シャワー部分は高さを調整できる2段リフト式に、また、シャワーヘッドは、本体からはずしてのびるようになっています。用途によって使い分けてください。
- シャワーから出た湯水が洗面ボールの中央に当たるように角度を調整してください。



ご注意

❶冬期、屋外と室内の温度差が大きいときや屋外の気温が氷点下のときは、出窓の一部や給水・給湯管が結露するおそれがあります。凍結防止、結露防止のため、配管に保温材を巻くなどして十分注意してください。



❷洗面ボール・カウンター・鏡に固いものをあてないようにしてください。



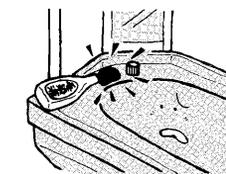
❸収納鏡本体に直接ヘアードライヤーの熱風をかけないように注意してください。



❹スイッチ・コンセント部分・鏡には、水・熱湯をかけないように注意してください。



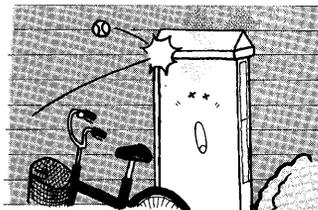
❺毛染液を使用する場合は、カウンターに液が付着しないよう注意してください。長時間液がついたままですと変色する場合があります。付着した場合は、すぐ水で洗い流してください。



❶ カウンターの上にタバコの火などを置かないでください。



❷ 出窓の屋根部に、はしごをかけたりものをぶつかけたりしないでください。



❸ カウンターには、シンナー・ベンジン・塩酸・強アルカリ性薬品などの溶剤や、クレンザー及び、トイレ・バス・タイル用洗剤は絶対に使用しないでください。表面に傷をつけたり変色・変質の原因になります。



❹ カウンターのお手入れの際、たわし・ナイロンたわし・金属ブラシ・金ペラ等は絶対に使わないでください。



❶ アルミサッシ部

- ① 表面についたホコリ、砂などを取り除きます。
レール部分は、歯ブラシや洋服ブラシを使うと便利です。
- ② 水でぬらしたぞうきんで全体の汚れをふきとります。特に汚れがひどい場合は、中性洗剤をうすめた液で汚れを落とした後、洗剤が残らないよう水洗いします。
- ③ 全体をからぶきします。



【ご注意】

- アルミニウムの表面は傷つきやすいので、清掃の際は、布やスポンジなど柔らかいものを使用し、金属ブラシや金ペラは、避けてください。
- 洗剤は必ず中性のものを使用してください。
- ヨゴレが付着してとれない場合
アルコール、ガンソリン類を布にしみ込ませてふきとります。
- 万一サビが出た場合
中性洗剤をつけたスコッチブライト、または目の細かい紙やすりで軽くこすり、汚れやサビを除いた後、水洗いし、スプレー塗料を吹きつけてください。



各部のお手入れ

④ 網戸

● 網戸をはずし、網のはってある側を下にして床に置き、柔らかいブラシ、スポンジなどで、水洗いします。

※ たてかけたり、網のはってある側を上にしたりして洗いますと網がゆるむおそれがありますので注意してください。

● 網戸枠は、アルミサッシ部のお手入れ方法と同じです。

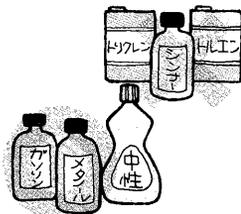


⑤ 出窓本体(塩ビ鋼板部)

● 塩ビ鋼板表面の軽い汚れは中性洗剤で、ひどい汚れはガソリン・メタノールで軽くふいてください。

● シンナー・トルエン・トリクレンなどは使用しないでください。

● キズをつけた場合は、サビ防止のため塩ビ系又はアクリル系の塗料による補修をおすすめします。

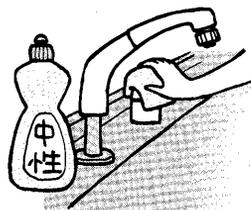


⑥ 湯水混合栓・排水金具

● 通常は乾いた柔らかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、うすめた中性洗剤でふいたあと水ぶきし最後にからぶきします。

● メッキ部は通常は柔らかい布で磨き、1カ月に1度くらいは、ミシン油やカーワックスをしみ込ませた布でふいてください。



各部のお手入れ

ただし、樹脂部(混合栓のカバー部)などにミシン油やカーワックスが付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。

なお酸性洗剤やクレンザーは、表面を侵したり傷をつけますので使用しないでください。

⑦ 収納鏡

● 中性洗剤をしみこませた布又はスポンジでふき取ってから水ぶきし、最後にからぶきしてください。

● シンナー、ベンジンなどの溶剤やクレンザー及びトイレ・バス・タイル用洗剤は、表面を侵したり傷をつけますので使用しないでください。

● 歯ブラシ立ては着脱式ですので、取り外して水洗いし、水分をきれいにふきとってから、取り付けてください。



【蛍光灯の交換】

- ① 照明カバーの止めネジをゆるめカバーを外します。
- ② ランプを交換します。
- ③ カバーをもとに戻します。

